江戸川区発達相談・支援センター主催 2022年度

地域事例検討会

テーマ「就学に向けた支援の工夫」



はじめに・・・注意事項

安全にウェビナーを実施するために・・・

- 表示名を、事業所名に変更お願いします
- 個人情報は打ち込まないようにしてください。
- 質問は講演中でも構いませんので、思いついたらどんどん打ち込んでください!

安全に、楽しい講座に出来るよう、ご協力をお願い致します (^^)



センターの概要

児童療育事業

未就学のお子様を対象に、密度の高い個別指導と 保護者支援、ニーズに合わせた集団指導を行っています

利用に関するお問い合わせ 203-5875-5321

ぺあすく

個別指導

親子共学型療育支援プログラム

- ●1回80分 1年間
- (前期6カ月週1回、後期6カ月隔週1回)
- ●セラピストによるお子様への直接支援
- 家庭でも療育を実践するためのペアレントトレーニング





パソコンやスマートフォンなどの ICT を活用し、支援効果の 見える化を図っています。



1年間のべあすく終了後は 就学まで右記のフォローアップ 支援をご利用できます

予約制コンサルテーション

○最大月1回のコンサルテーションを提供

ピアグループ型個別指導

- ●2、3名の個別指導 1回80分
- 1 対1で対応することもあります

発達障害相談事業

発達についての悩みや、 発達障害に関する相談に応じます

18歳未満の方の発達に関する相談

203-5875-5101 (発達相談室 「なないろ」)

18歳以上の方の発達に関する相談

203-5875-5401 (免達障害相談センター





計画相談支援事業

障害児支援サービスを受けるために 必要な支援計画を作成

保育所等訪問支援事業

訪問支援員が保育所等を訪問し、 集団生活の適応のための支援を実施

短時間通園クラス

毎日通園クラス

習得を支援

集団活動や給食など

生活リズムの安定や身辺自立の

○3~6名、1回60分 平日の午前・午後

集団指導

べあすくと並行して(もしくは終了後)

集団指導を受けることができます

9:30 - 12:30 原則週 5 日間のクラス

●集団適応やコミュニケーションを支援



スクールトライアル

- ●3~6名、1回60分 平日夕方
- ●就学に必要なスキルの習得を支援



支援者支援・啓発

支援者や保護者向けの講座、市民への啓発を行います。

乳幼児施設等巡回 支援事業

出前講座

親支援講座

発達障害 啓発イベント

公開シンポジウム

事例検討会

児童療育事業の料金

- ●1回の料金(負担額)は所得に 応じて0円~1200円程度です。
- ●区が定める利用者負担上限月額の 範囲でご利用いただけます。

- ●3歳以上は無償化の対象です。
- ※計画相談支援事業は無料です。

療育プログラムの流れ(例:就学への移行)

応募 契約

利用 説明会 1月·7月

相談支援 受給者証取得 家庭訪問 機関連携

ぺあすくプログラム

- -親子共学型療育支援
- -1回80分の通所型個別指導



集中支援期

- ・<mark>週1回</mark>の通所
- · 保護者全体研修
- ホームワーク実践

支援フェード期

- 月2回の通所
- ・家庭療育のサポート

保育所等 訪問 月1回

相談支援

振り返り 支援見直し

地域連携

集団に おける支援 (スクール

トライアル)

発達相談室 なないろ

サポート など



保育所等 訪問

6カ月

6カ月

1年目

2年目 フォローアップ支援期

3年目 就学移行期





スクールスキルのリスト(一部抜粋)

	スクールス	集団	集団の場にいる	集団で安定して着席	順番にならぶ	前で発表	挙手して発表	チャイムで席に座る	起立着席礼	忘れたことを伝える	わからない時に質問する	許可をとる	提出物を出す	係や役割の遂行	他者の発表を聞く	黒板に注目する	好きな方に挙手	説明を聞いてから始める	プリントをとりにいく	プリントを後ろに回す	プリントを貼る	丸つけをする	直しをする	できた人は~する	椅子を机の上にあげる	机をうごかす
نة. الم	キル	道具	筆箱	赤鉛筆	鉛筆削り	定規	消しゴム	下敷き	ノ ト	教科書	連絡帳	ランドセル	ロッカー	給食袋	机の引き出し	前の授業の片づ	授業の準備	使わない道の選	道具の片づけ							

片づ

の 選

別

Jens Martensson

椅子をう

か す

江戸川区発達相談・支援センター主催

R3年度 短期ペアレントトレーニング講座

我が子への関わり、みんなで学ぼう

「発達の気になる子と家族の勉強会」

対象 発達が気になる 小学生の お子様を育てる 保護者様



「癇癪がはげしい」「忘れ物がおおい」「宿題をやらない」・・ 日々の困りごとに、どう対応すればよいか、お悩みではありませ んか? 保護者同士で交流しながら学べる連続講座を開催します。

本講座の特色

- ✓ 発達が気になるお子さんの子育ての工夫を豊富な事例でご紹介
- ✓ ワークやロールプレイを通じ、明日から使えるヒントを学べる
- **✔同じ悩みをもつ保護者同士で、ともに学べる**

日程 *それぞれ単発のご参加も可能です

1回目: 9/29(水) 9:30-12:30 「困りごとを分析!3つの箱」ワーク

2回目:10/20 (水) 9:30-12:30 「我が子にあった伝え方発見」ワーク

3回目:11/5(金) 9:30-12:30 サポートファイル作成&保護者座談会

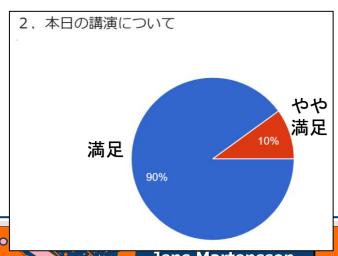
保護者支援の新たな取り組み「学齢期向けペアトレ講座」

- 学齢期に参加できる**保護者支援プログラム**の不足
- 初のオンラインでの連続講座を開催

実施内容

- 分かりやすい指示の出し方体験
- 困った行動に対するストラテジーシートワーク
- わが子のとくちょう整理ワーク
- 先輩保護者講演
- サポートファイル作成

など



成人期を見据えた支援

-優先順位の高いスキル

様々な要求を自発できるよう教える(援助を適切に求めるスキルが育ちにくい)



保育所等訪問

- 区内で2拠点目となる保育所等訪問を開始した。
- R2年度は9園を訪問し、延べ約40人(実人数15名)に支援を行った。

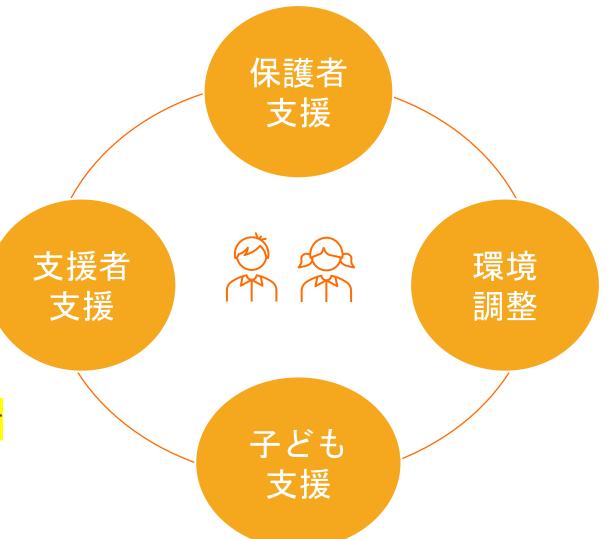
- ・センターから訪問を受けることで、園内で療育的な対応ができるようになり、子どもの適応がよくなった
- ・保護者と園とセンターで密な連携がはかれるようになり、共有・相談がしやすくなった
- ・集団内での支援をうけることで、子供が落ち着いて集団に参加できるようになった
- ・療育で実施している内容を共有し実践の様子をみていただくことで、園内でも保育者と対象のお子さんとのコミュニケーションがとりやすくなった



相談・支援の前提

- ・ 診断にかかわらず支援することが前提 (困り感や疑い段階で早期に開始)
- ・関わり方を含めた環境調整が重要
- 個にあわせたオーダーメイドな工夫
- ・連携しチームで子どもを支えるのが理想

・保護者様が十分な支援やサポートを受けられることが非常に重要



相談・支援できるところ

学校の先生

個人面談などの 機会に相談してみ ましょう。

スクール カウンセラー

各学校月1回程度 来校しています。

その他

- 介助員
- 特別支援教室(校内)
- 特別支援学級

発達相談室「なないろ」 電話:03-5875-5101

お電話でのご相談をお受けし ます。まずはお電話ください *平井にあります。

教育相談室

お子さんの教育上の悩 みや心配事についての 相談を、子ども本人や 保護者、教職員のかた からお受けしています。

民間放課後等ディ *申込は各所まで

区内に70か所程度 あります。送迎付 きの預かり型が多 く、学童のように 利用する方も多い

民間医療機関 *申込は各所まで

児童精神科などを 受診します。心理 士が検査などを とってうれるとこ ろもあります。

児童相談所はあとポート TEL:03-5678-1810

子どものしつけや不登校、 障害、非行など18歳未満 に関する相談であれば、 幅広く受け付けます。 *新小岩にあります

- 東京都立東部療育センター 予約TEL 03-5632-0489
- 医療と療育を総合的におるかられる。
- 医師の診察を受けること
- が出来ます
 - 学齢期は、利用できる支援の選択肢がへってくる





学齢期に気を付けたい負のループ

- ・ 勉強が難しい
- 友達関係がうまくいかない
- ・ 忘れ物が多い
- 整理整頓ができない・・・・

できない

学校生活 はたいへん

ふざける やらない 回避する

叱られる

一例 読み書きに苦手さがある

- ・文字が読めない、書けないことは理解されにくい。学校生活は大きな苦痛をともなう
- 反復練習をしても、書けるようにならない(自信の喪失、回避的)
- ✓関わりの方向性
- ・子どもに合わせた学習の方法をともに探す
- ・周囲の理解と合理的配慮を求めていくこと
- 長い目で見て対応する(代替できる手段はないか?)
- √やらないほうがいい関わり
 - 厳しくしかる
 - ・反省を求める
 - 約束させる、、、
 - →親子関係が悪化しやすい

DSM-V 神経発達症群/神経発達障害群

- 読字障害/書字障害/算数障害
- 有病率:学齢期は5~15%、成人は4%程度と推定
- 日本では2.5% (文科省,2004)
- 男性の方が多い(2:1~3:1の範囲)
- 予後:失業率が高い、精神的健康の不良、所得が低い、抑うつ症状、自殺念慮などの 危険性
- 社会的及び精神的支援により、回復が予防が可能
- 症状としての併存が多く、慎重な鑑別が必要(ADHD,ASDなど)

読み障害

- 不適格または速度が遅く努力を要する読字
- 読んでいるものの意味理解に関する困難さ

書字障害

- 字を書くこと自体の困難さ 字の形をとらえて書けない、抜け漏れがある
- 書字による表現(意味)の困難さ 文法や段落のまとめ方、意味が通じない文章

算数障害

- 数字の概念、数値、または計算の習得の難しさ
- ・ 数学的推論の困難さ 数学的概念や事実、数学的方法の応用の難しさ

日本語の読み行動の発達 (Akita & Hatano, 1999)

1. 語標方略

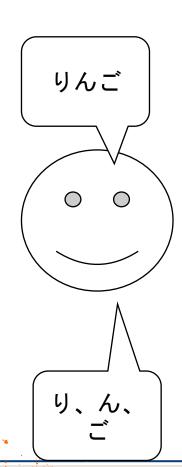
個々の文字に対応させず単語全体のまとまりを弁別刺激として 音声反応を行う

2. 文字方略

文字の最小単位に対応させた音声反応を行う

りんご

りんご



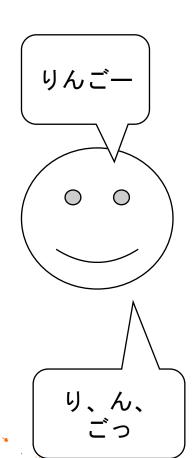
日本語の読み行動の発達 (Akita & Hatano, 1999)

3. 綴字方略

拗音や撥音などの特殊音節についても対応した音声反応を行う

りんごー

りんごっ

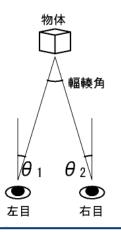


英語と日本語の違い

音の要素が文字と1対1対応しているかどうか

読み障害

- 脳の中枢神経系の機能障害
- ・文字の形を正確に把握する
- ・視線を文字列に沿って一定スピードで動かす



正確性または流暢性のいずれかに困難

・音声刺激のまとまりをとら える

・子音を聞き取る

・音声刺激の継次処理に対応

した視覚刺激への定位



聴覚



視覚

- ・文字に対応した音声化を正確に行 う
- 速いスピードで正確に読む
- ・内容を理解する



読み行動の支援(山本・澁谷, 2009)

- ①等価関係による理解支援
- ②等価関係における命名支援
- ③系列的要素(単語)の見本合わせ
- ④単一要素(清音、特殊音節)の見本合わせ
- ⑤流暢性の確立
- ⑥語彙の拡張
- ⑦文章理解の促進

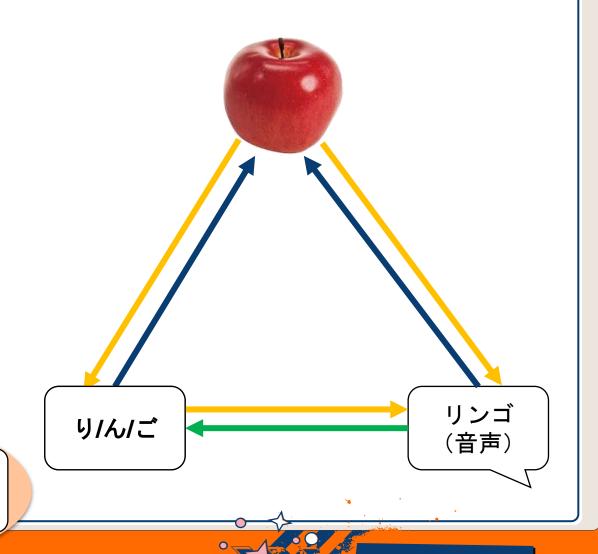
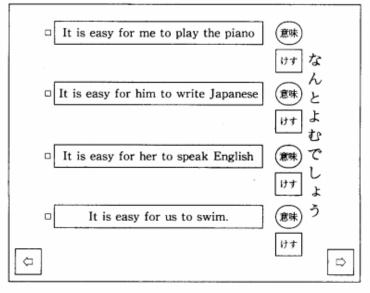


Table 1 CAI教材による訓練手続き

- 画面1 訓練する4英文を提示して、読むことができるか、意味を述べることができるかたずねる。
- 画面 2 「英文 (形態)」とそれを表す「絵・文 (意味)」 とを結びつけて覚えるように促す。
- 画面 3 画面に提示された「英文」を、それが示す「絵・ 文」まで運んで見本合わせを行う。
- 画面 4 「絵・文 (意味) (ただし補助的に英文 (形態) も提示されている)」と「読み (音)」とを結び つけて覚える。各文をつかえずに読めるように する。
- 画面 5 「絵・文(意味)(ただし補助的に英文(形態) も提示されている)」と「読み(音)」との見本 合わせを行う。
- 画面 6 4 英文について、読みテスト及び意味のテスト を行う (テスト I)。
- 画面 7 「読み(音)」を聞いてそれにあてはまる英文(形態) を選ぶテストを行う (テストII).



画面6 テストI:英文の読み・意味テスト

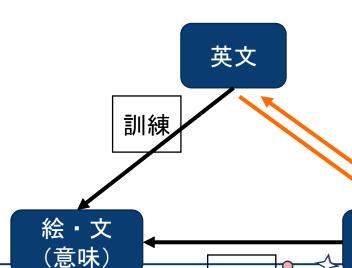
教材画面の例



画面3「英文」と「絵・文」との見本合わせ

読み

Fig. 2 CAI 🛊

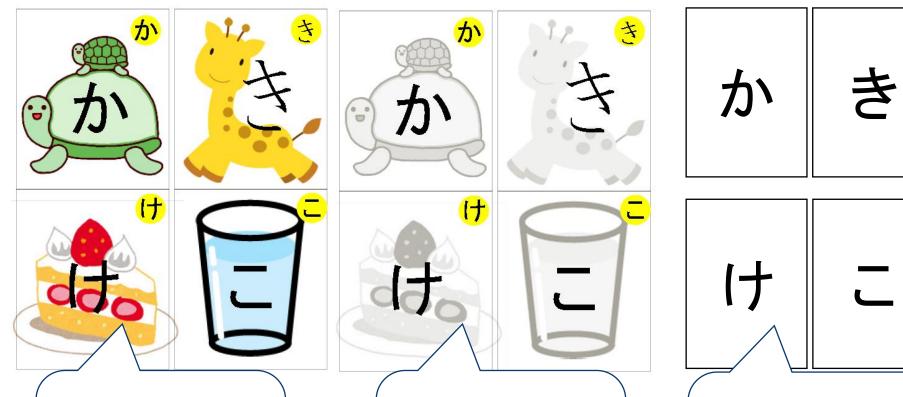


訓練。

Jens Martensson

音声による意味づけルート(ひらがなカルタ)





かめのか! ちょうだい

かめの カ! ちょうだい

ちょうだい

得意な感覚や学び方を活かすには?

小学校3年生の女の子

得意

- ・動作や動きを伴う指示の理解の方が得意
- ・お使いやミッションを与えるなど、文脈をつけた指示の方が良い
- ・楽しみな活動の予告がモチベーションにつながる、見通しを持てる
- ・関わる、会話をすることが強化子になる

苦手

- ・単純な色の識別などの視覚的な弁別課題
- ・似た絵の構成などの視覚的運動を伴う課題
- ・注意の切り替え

一例ゲームなどにのめりこんでしまう一隠れた理由に目をむける

- ●WHOでも正式に「ゲーム障害」という病気が認められた。学齢期に入ると、ゲームに関する相談が増加
- ◆なぜゲームにのめりこんでしまうのか?理由はいくつかある
- ゲームは面白い
- ゲームがよりどころとなっている
- ゲームで生きづらさを紛らわす
- 凝りやすい、頼まれると断れない、といった性格的な要因でやめられない

●対応

- ・取り上げたり叱責するのは、逆効果になることがおおい。まずは話を聞いてみる
- ・他の楽しみ、遊びを増やすことが大切。大人の手伝いが必要となる。
- 家庭ごとのルールは必要。
 - ✓子どもの意見もきき、一緒に決める
 - ✔親も子もルールを守る
 - √守れなかったときにどうするかも、一緒に決める
 - ✓ルールは適宜、環境の変化に応じて見直す



参考資料

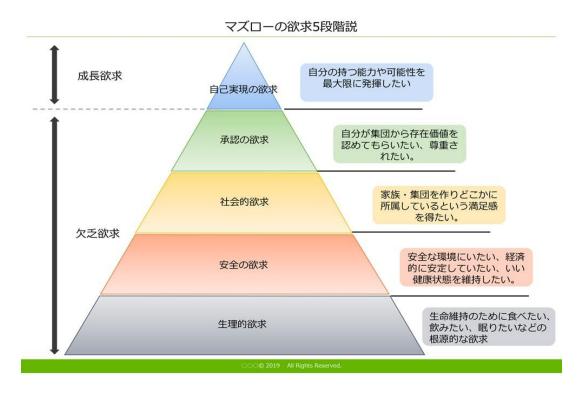
ネット・ゲーム依存について心配になったら 読んでほしい3つの大切なこと

この数年間で、インターネットやゲームの使用に関する相談が増えてきています。また、WHO(世界保健機構)で「ゲーム障害」が病気として認められたことからわかるように、ゲームに関する問題は世界中で深刻になってきています。ですが、我が国において、インターネットやゲーム<mark>に関</mark>する治療や相談ができる専門機関は少ないのが現状です。

ただ、インターネットやゲームに関する問題(以下、ネット・ゲーム依存)は、治療をしてすぐに治る ものでもありません。受診や相談の前に、家族や周りにいる支援者ができることもあります。インター ネットやゲームに夢中になっている本人は、いつからどのようにしてのめりこんでいったのでしょうか。 もし、すでに日常生活に問題が出ているとしたら、本人はその状況をどのように感じているでしょうか。 ゆっくりと対話をする中で、解決の糸口が見えてくることもあります。

千葉県精神保健福祉センター2021

大人になったときを見据えて一大切なこと



✓選択や要求が出せる

自分のしたいこと、したくないことをきちんと選べる、意思表示できることが重要。コミュニケーションの基本

✓周囲を要求や助けを求められる

できないことがあってよい。周囲から助けてもらったらうまくいった、という成功体験の積み重ねが鍵

✓失敗を隠さないですむ

失敗をしてもよい。 隠さず報告できたらどんどん褒めて育てる。 社会人と しても大切な視点

√楽しみをもって生きる

「好きな物がある」というのは非常に大きなつよみ。生活を楽しめる人に

<u>自分にも我が子</u>にも やさしくいられる状態

自己肯定感を下げない

適切な行動に注目をした関わり

A: 先行刺激

- 授業が分からない
- 手持ち無沙汰
- ざわざわした教室

A: 先行刺激

- ・その子に合わせた課題提示
- こまめに励まし
- ・座席位置の工夫
- ・「これ後で発表してね」と事前に約束
- 「さっきの答えとても良かったから発表してみて」

B:行動

授業中に立ち歩く

C:後続刺激

過剰に相手にせず、淡々と対 応する

B: 行動



受 授業に座って参加

C:後続刺激

- 「みんな○○君の意見とてもいいと思わない?」
- 先生と友人のポジティブな注目
- 達成感

「適切な行動を引き出すきっかけを作り、適切な行動ができたら、強化する」

<u>日常生活の中で繰り返していくことで、あらゆる適切な行動を増やすことができ</u>

適切な行動に注目をした関わり

A: 先行刺激

- 授業が分からない
- 手持ち無沙汰
- ざわざわした教室

A: 先行刺激

- ・その子に合わせた課題提示
- ・座席位置の工夫
- クラスのルール作り「先生に来てほしい時は手をあげて」「いつでもよんでいいよ!」

B:行動

授業中に立ち歩く

C:後続刺激

過剰に相手にせず、淡々と対 応する

B: 行動



「挙手」で援助を求める

C:後続刺激

- 賞賛「上手にあげられたね!」
- 援助「ここはこうやってやってごらん」
- 課題の達成+達成感

「適切な行動を引き出すきっかけを作り、適切な行動ができたら、強化する」

<u>日常生活の中で繰り返していくことで、あらゆる適切な行動を増やすことができ</u>

「反省文化」は百害あって一利なし・・・といってもよいかもしれません

- 行動の機能としては、苦手な状況、嫌な状況からの回避にとどまる。
- 時間的なスパンが長すぎる&具体的にどう行動するべきかが曖昧で伝わらない
- 大人側の期待から叱責につながりやすい(あの時あぁ言ったのに!) = 失敗体験を量産してしまう
- 責められる-**隠す**ようになる-さらに失敗を重ねる-**自己肯定感**が下がる・・・長期的なデメリットが大きい
- 「**適切な行動**」を教える機会と「成功体験」をともに作ることが重要
- ソーシャルスキルとしての謝罪を教える必要はあり

行動のきっかけ

「反省しなさい!」 「謝りなさい」 「悪いと思っている の?」



行動

- 「ごめんなさい・・」
- ・「もうしません・・」
- ・しおらしい態度・表情

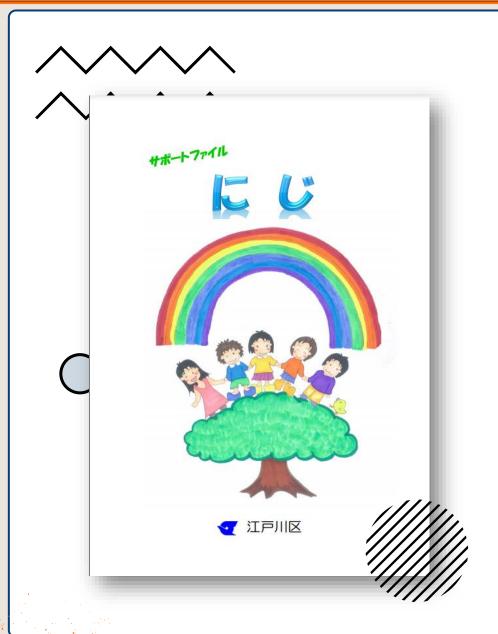




行動の後の出来事

・お説教が終わる





サポートファイル「にじ」とは?

江戸川区が発行する、発達に課題のあるお子さんがライフステージに応じた適切なアドバイスやサポートを受けるときに役立つ、成長と発達を記録する個人の情報ファイルです。



サポートファイル「にじ」とは

◎活用の仕方は?

家庭と支援機関(保育園・幼稚園・学校・療育機関等)との情報共有や次のステージへの引き継ぎのツールとして活用するものです。

◎誰のもの?

保護者が子どもの成長や支援内容を記録、 保管またはご本人が記録し保管できます。

サポートファイル「にじ」

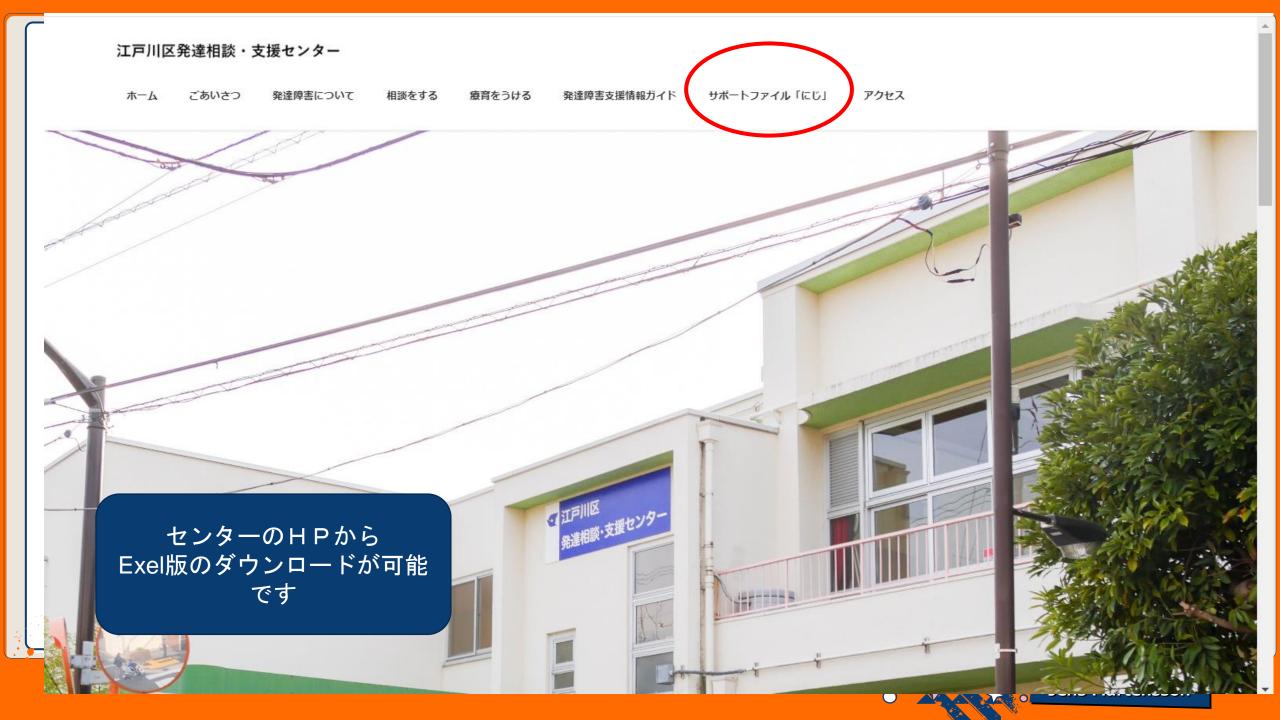
• サポートファイル活用のきっかけづくり





• 地域の保護者様同士のつながりづくり





サポートファイル「にじ」とは

発達に課題のあるお子さんがライフステージに応じた適切なアドバイスやサポートを受けるときに役立つ、成長と発達を記録する個人の情報ファイルです。

家庭と支援機関(保育園・幼稚園・学校・療育機関等)との情報共有や次のステージへの引き継ぎのツールとして活用するものです。 保護者が子どもの成長や支援内容を記録、保管またはご本人が記録し保管できます。

江戸川区発達相談・支援センターでは、記入の仕方等、ご相談にお応えします。お気軽にお問合せください。 このファイルは保護者あるいはご本人に管理していただくものです。

ファイルに記入する内容は全て個人情報ですので、取扱いにはご注意ください

サポートファイル「にじ」のダウンロード

こちらかうサポートファイル「にじ」をダウンロードすることができます。

「にじ」ダウンロード

また、以下は各章ごとのデータになります。

エクセルファイルについては、ダウンロードしていただきパソコン上で編集をすることができます。

- 1. 表紙
- 2. 目次
- 3. はじめに
- 4. 基本情報

センターのHPから Exel版のダウンロードが可能 です



いつ?

- ・入園時に
- ・加配の先生に
- ・就学の際に
- ・療育施設の通所開始時に etc・・・

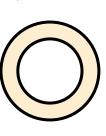
誰に?

- ・担任の先生に
- ・園長や校長先生に
- ・療育先の担当者に
- ・祖父母に etc…

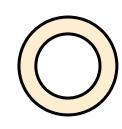
使い方に決まり はありませ<u>ん</u>













- 1.表紙
- 2.<u>目次</u>
- 3.<u>はじめに</u>
- 4. 基本情報
- 5. 今のわたし-成長の記録(乳幼児期)
- 6. 今のわたし-成長の記録(学齢期)
- 7. 今のわたし-成長の記録(18歳以上)
- 8.わたしの生活地図
- 9.支援機関の方へ
- 10.こんなときの相談窓口一覧
- 11.ヒント集..大人も子どもも!「できる」をつくる関わり方
- 12. 裏紙

いまのわたし

II - 1, 2, 5

- お子さんのこと
- -コミュニケーションのこと
- こまった時の対応





5歳女児 幼稚園 ASD診断あり 支援経過と見立て

- 2020.7~ コペルプラス平井教室通所開始し、2022.4~ 2/週
- 他療育施設 1/月
- 療育サポートセンター 1/3か月
- 2022.5~ 東大病院小児心理科受診開始
- 2023.4~ 普通級進学予定
- ・知的には定型レベルの印象(WISC等未実施)で机上、運動共に問題ない。 やや複雑な家庭環境に置かれているせいか、外交的には良い子を演じがち。 失敗や叱責を嫌い、それらによって不眠、夜尿症や食欲不振が出現すること がある。ストレスでも同様。
- ・些細なことや冗談が通じない。通所継続を第一とし、本児嫌がることを排除する等して対応中。

討論したいこと

繊細で妥協を許せないままで、小学校生活に適応できるか? (当施設では本児が自分に合わないと訴える指導員や友達、レッスン課題、掲示物含む様々なグッズ等は、物理的にも気持ち的にも距離を取ることで回避しており、保護者も容認し、またこの対応を希望している)

質疑応答タイム



資料

1. 就学に向けての江戸川区内のシステム

就学に関する対応は、教育委員会学務課が行っています。

保護者



<教育委員会 学務課>

学事係(学校選択、転入学等)

相談係(就学相談等)

給食保健係 (就学時健診等)

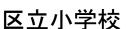
年長さんの時 10月~11月ぐらいの 時に小学校で健康 チェックするよ



都立特別 支援学校

視覚障害 聴覚障害 肢体不自由 知的障害







特別支援学級 (知的障害)



通常の学級

特別支援教室 (巡回指導)



将

特別支援教室について(巡回)

» 特別支援教室とは??

特別な指導を必要とする児童・生徒が在籍学級における学習上又は生活上の困難の改善・克服を図るため、一部の時間(月1~週8時間程度)校内の別の教室で指導を受けられます。

» 対象は??

これが"特別支援教室"だよ!

通常の学級に在籍している児童・生徒です。 たとえば・・・

落ち着きがなく、ずっと座っていることが難しい・・

文字を読んだり書いたりすることが難しい・・・

気持ちをコントロールしたり、相手に伝えたりするのが難しい・・・





知的の遅れや不登校の児童・生徒は対象とはなりません

» どのような指導をするの??

1人1人の特性や発達段階に応じて、オーダーメイドで目標を設定して巡回指導教員や特別支援教室専門員などが指導します



たとえば・・・

自分でスケジュールを管理する方法

その場面や場所で合った、言葉遣いや挨拶、表現方法を身に着ける方法 バランス感覚や触覚、運動感覚を高める方法 など

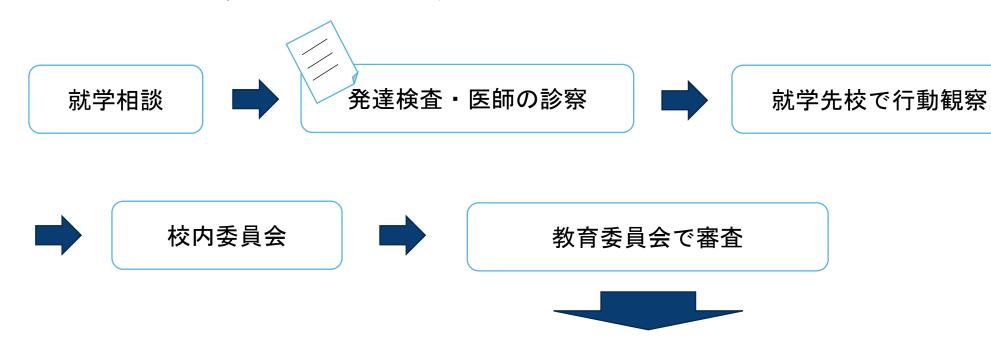


教科の補習や学習の遅れを取り戻すための指導は行いません

指導期間は原則1年間です。退出後も教室での指導・支援の工夫を 続けていきます

巡回指導を利用する場合の流れ

• 原則的には入学後に校内委員会で検討し教育委員会に申請します。



決定!→学校に通知

ことばの教室(言語障害通級指導学級)・弱視・難聴について

①ことばの相談

小学校に在籍している児童・生徒で、ことばやコミュニケーションについて特別な指導をしてくれます。指導内容は「自立活動」です。江戸川区内に4学級あり、決められた時間に、校外からは保護者同伴で通い個別に学習します。

②視力の弱いお子さんの学級 [弱視通級指導学級]

小学校に在籍している児童・生徒で、お子さんの見え方の状態に合わせて個別指導します。

江戸川区内に2校(2学級)

③きこえの教室 [難聴通級指導学級]

小学校に在籍している児童・生徒で、聞こえの相談やことばの学習、発音指導など、状態に合わせて 基本的には1対1で指導いたします。時々グループ学習を行います。

江戸川区内に2校(2学級)

特別支援学級について

発達の遅れが比較的軽度で、通常の学級での学習が困難なお子さんが対象です。主な障害は 知的発達遅滞、ADHD、自閉症、てんかんなどです。

<利用するまでの流れ>

就学相談



学務課相談係に訪問



親面談と行動観察



特別支援学級で体験入学を実 施



行動観察会に参加(就学支援委員 会)



就学先の判定が出る



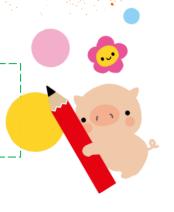
決定!→保護者へ連絡



保護者の理解と納得の上で、就学先を決定いたします。

特別支援学級の特色

特別支援学級に在籍するお子さんは、基本的に毎日特別支援学級の中で過ごします。少人数での授業を行い、生活面や学習面で自立できるよう、一人ひとりの状況に合わせたきめ細かい指導を行っています



» 指導方針

- ① 学習指導
- ・個別指導計画を作成し、児童の特性に合わせて教科や範囲に よって少人数グループ学習を行い基本の定着を図る。又、興味関心が持てるような教材・教具の工夫をしながら繰り返しの指導を通して学習の定着を図る。
- ・友達同士のコミュニケーション能力を高める活動、学習を行う。など
- ②生活指導
- ・基本的な生活習慣の定着を図り、自分のことは自分で最後までやり通す力を身に着け、挨拶を身に着けることにより、人とのコミュニケーションがとれるようにしていく。 など
- ③ 学級活動
- ・学級内での出来事、問題を話し合う活動を進んでおこなう。
- ・遠足、班活動などを通して通常学級との交流学習をおこなう。



- 4 道徳
- ・日常生活においてお互いに助け合い、協力し合える態度の育成を図る。
- ・視聴覚教材を活用したり、集団活動を通して公共のマナーやルールを身に着ける

特別支援学校について

障害のあるお子さんが就学する選択肢のひとつとして、特別支援学校があります。

基本的には幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準じた教育を行っていますが、それに加えて障害のある児童・生徒の自立を促すために必要な教育を受けることができるのが大きな特徴です。

・特別支援学校の学区域(小・中学校)

- » 都立鹿本学園(知的障害教育部門、肢体不自由教育部門)
- » 臨海青海特別支援学校(知的障害教育部門)

就学基準に該当していても就学先が特別支援学校に限られることはなく、その他の進学先も検討することができます。

障害の程度が就学基準に達しない子どもについては、特別支援学級・巡回 (通級)による指導を受けるか、通常の学級に在籍して支援を受けることに なります。